



芝税務署長
上原貢

受賞された児童生徒の皆さん、おめでとうございます。今年も素晴らしい作品を多数ご応募いただきありがとうございました。毎年募集している税に関する作品は、税の意義や役割について関心を持っていただき、税について正しい理解を深めていただくことを目的としております。

今回受賞された皆さんの作品は、それぞれ創意工夫を凝らされ、多数の応募作品の中でもとりわけ優れたものでした。これからも税に対する理解を一層深めていただき、よりよい社会を築いていく立派な社会人に成長されることを願っております。

最後になりますが、作品を応募していただきました児童生徒のご家族の皆様、租税教育などに取り組んでいただきました先生方に、厚く御礼申し上げます。



東京都港都税事務所長
星野義孝

受賞された皆さん、誠におめでとうございます。皆さんの作品には、街の安全・安心、教育や福祉、未来の東京を支えるインフラなど、税が見えないところで社会を動かしているという気づきが鮮やかに表現されていました。特に、身近な体験などから税の役割を見つけ、「自分ごと」として言葉や絵にした視点に、とても感動し、力づけられ、大きな希望を感じました。

これからも税への理解と感謝の気持ちを忘れず、日本の未来を支える立派な大人に成長していただきたいと心から期待しています。

最後に、日頃から租税教育にお力添えをいただいております先生方やご家族の皆様、作品募集にご尽力いただきました各団体の皆様に厚く御礼申し上げます。



港区長
清家愛

港区長賞をはじめ、各賞を受賞された皆さん、誠におめでとうございます。それぞれの作品を拝見し、皆さんが税について考え、税を通じて社会の出来事に目を向けていただいていることを、嬉しく思います。

区では昨年9月、社会全体で子どもの人権を守り、すべての子どもが幸せを実感できる国際都市・港区を実現するため、「港区こどもまんなか宣言」を掲げました。子どもの意見や考えに耳を傾け、様々な社会活動へ参加する機会を充実していきます。

本日受賞された皆さんには、これからも社会の出来事に関心を持っていただき、あらゆることに挑戦し、豊かな経験や知識を持った立派な社会人になることを、大いに期待しています。



港区教育委員会教育長
新宮弘章

中学生の「税についての作文」「税に関する絵はがきコンクール」並びに「税の標語」において表彰を受けられた児童・生徒の皆さん、保護者の皆さん、誠におめでとうございます。

皆さんの作品ひとつひとつを拝見し、税という身近でありながら捉えにくいテーマに、自分の日常や未来への思いと結びつけて表現している姿に深く感心しました。また、言葉の選び方、色使い、視点の置き方など、それぞれの思いや考えがしっかりこめられており、中学生ならではのまっすぐな視点が輝いていました。

今回の受賞は、皆さんが積み重ねてきた学びの成果です。この経験を、これからの学びや将来の挑戦へと大きく生かしていくことを期待しております。



〔小学生・中学生〕

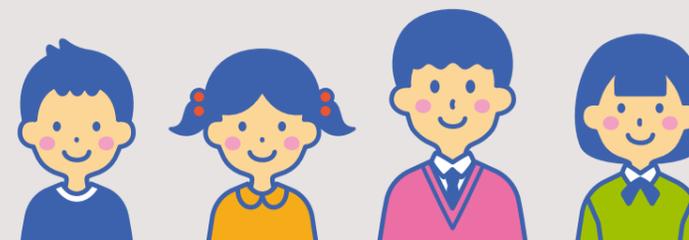
中学生の「税についての作文」
税の標語／税に関する絵はがきコンクール

優秀作品集

・令和7年度・



「税ってなんだっけ？からはじまった、私たちの作品集！」



受賞されたみなさん おめでとうございます!!

税への理解を深めるための事業の一環として、小学生と中学生の皆さんを対象とした「中学生の『税についての作文』」、「税の標語」、「税に関する絵はがきコンクール」を開催しています。優秀作品受賞者を対象に、11月13日（木）に、表彰式が執り行われました。



▲ 芝税務署長賞を受賞された[]さんによる作文朗読



小中学生の表彰式は、直接会場での参加が難しい児童・生徒さんもいるため、リモートでの中継も行っています。今年度は、大島町の小学生児童1名と保護者の方が、リモートで参加をしてくれました。

一日税務署長

12月4日、芝税務署主催による「一日税務署長」が行われ、芝納税貯蓄組合連合会・芝間税会・芝法人会は、協力参加いたしました。本イベントの参加対象は、《芝税務署長賞》を受賞された生徒・児童のみなさんです。

まずはじめに、芝税務署の署長室にて、委嘱状交付、たすき掛け、名刺交付があり、上原署長をはじめ芝税務署の方々、芝納税貯蓄組合連合会の丸会長、芝間税会の河村会長と名刺交換を行いました。次に、実際に使われている署長席に座り、報告書の模擬電子決裁を行いました。

その後、会場を移し、芝税務署職員（約50名）が集まる前で、[]さんによる作文朗読、[]さん・[]さんによる「年末年始の注意事項について」署長訓示が行われました。

学校の先生や保護者の方にもご参加いただき、和やかな、楽しいイベントとなりました。本イベントの様子（写真）は、JCOMで放映されました。



中学生の『税についての作文』 優秀作品



芝税務署長賞／東京納税貯蓄組合総連合会会長賞

「ふるさとと税」

三宅村立三宅中学校 3年 [] さん

「こちらは、防災三宅です。噴火警戒レベルが引き上げられました。」

6月17日、突然村内放送が鳴り響いた。「いよいよ噴火か」と焦りと不安を覚えた。火山性微動の増加、地殻変動が確認され、噴火警戒レベルが1から2に引き上げられたのだ。

私の故郷は、東京から南へ約180kmの場所にある伊豆諸島の三宅島だ。別名「バードアイランド」とも呼ばれ絶滅危惧種の野鳥や固有種が多く生息する自然豊かな島。しかし一方で、三宅島は火山島であり、これまで何度も噴火を経験してきた。火山島であるためもしもの時に備える準備が欠かせないことは知っていたが、具体的にその対策までは考えたことがなかった。

夏休み中、祖父に2000年に起きた噴火の話を聞く機会があった。

「空まで真っ黒になって、あたり一面が白い灰で埋もれたんだ。まるで雪が降ったみたいだったぞ。」

祖父はそう言って、当時の資料や映像を見せてくれた。高さ14,000mまで噴煙が立ちのぼり、火山ガスの影響で木々が枯れ果て、島の景色は一瞬で変わってしまった。その後、全島避難指示が出たことにより、三宅島の人々は4年半もの間、故郷を離れて避難生活を送らなければならなくなってしまったそうだった。

もし自分だったら、家族や友達と離れて、ふるさとに帰れないなんて耐えられるだろうか、と胸が苦しくなった。

避難生活を送るにあたって、いろいろな方からの応援や支援があったそうだ。その支えの中に税金があったことを祖父から教えてもらい、驚いた。避難に使う船の費用、避難先の住居や、生活を支える非常食など様々な物資。そして三宅島に派遣されて活動して下さった自衛隊や消防、警察の人たち、復興作業に携わった建設作業員の人たち。これらにすべて税金が使われていた。

「三宅島はまだ完全に復興したわけじゃないけど、ここまで戻れたのは多くの人の努力と税金のおかげなんだぞ。」

と祖父は言った。

祖父から聞いた噴火の話を通して、私は税金というのは「取られるもの」ではなく、人の命や暮らしを支えてくれる大切な力であることを知ることができた。今、三宅島では噴石シェルターが各所に作られたり、非常食が備えられたり、様々な防災対策により私たちは安心して暮らすことができている。これもまた税金のおかげである。災害時のみならず、意識して見渡してみると、何気なく過ごす日常にもたくさんの税金が使われていることに気づくことができた。祖父の言葉通り、私の暮らしは多くの人の努力と税金に支えてもらっている。だから今後はより一層税金に感謝するとともに将来は、海上保安官になって社会の安全に貢献したい。

中学生の『税についての作文』では、18校から572編ご応募いただきました。皆さんの税に対する深い理解と、暮らしのなかで感じた税への想いなどが表現され、読み応えのある作品ばかりです。特に優秀な作品を選定させていただきましたので、ぜひお読みください。

【芝納税貯蓄組合連合会／会長 丸哲夫】

芝税務署長賞／東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

「ドーナツと受験と税金と」

港区立高松中学校 3年 [] さん

今、我が家では「奨学金制度」の話がよく飛び交っている。高校二年生の姉は、テストの結果や学期末の成績表が返却されるたびに「この制度なら使えるな」「給付型はやっぱ厳しいな」などと言いながら、成績とパソコンとにらめっこしている。私は隣で、まだ受験生でもないのにえらいなあ、と他人事のように姉の様子をみつめていた。

ある日、勉強の気分転換に姉とドーナツを食べに行った。食べたいものを全部選ぼうとすると、消費税が加わってお小遣い分を少し超えてしまった。何かを諦めなくてはならない。「消費税なんてなくなればいいのに」そう言うと姉は、「私が考えている奨学金の中には税金で賄われているものもあるから悪いことばかりじゃないの」と言った。そして、「つむの高校受験にも関わることなんだよ」と付け足した。驚いた。税金による直接的な支援は、大学受験をする姉や、子育て支援を受ける両親だけに関わることだと思っていた。だから、あと約半年後に迫った私の高校受験にも関係があると聞いて、途端に税金に興味がわいてきた。

姉に詳しく聞いてみると、東京都教育委員会が行う「受験生チャレンジ支援貸付事業」について教えてくれた。一定の収入以下の家庭が対象で、受験生の一年間の塾代と受験料を無利子で貸してくれる制度だそうだった。さらに、受験に合格すれば返済が免除されるというのだ。実際に姉も高校受験で

この制度を利用したという。この制度のおかげで、姉は安心して塾に通い、毎日勉強に励むことができ、無事に第一志望校に合格することができた。姉の高校受験の裏にはこんなにも大きな行政の支援があったことを、私は初めて知った。

それから私は、我が家の「奨学金制度」の会話に混ざるようになった。母曰く、残念ながら私はこの支援制度を利用することはできないらしい。しかし、調べてみると税金による支援はまだある。文部科学省の運営する高等学校等就学支援金制度や東京都の運営する支援はすべて税金が支えている。つまり私たちのドーナツが支えているのだ。

私が払う消費税が自分や姉をはじめ、日本中の未来を担う子どもたちを支えていると思うと、税金を納めることが誇らしく思えた。税金について知ることによって、経済的な援助を得られるだけでなく、安心して勉強に励むことができたり、心から行きたい学校を経済的・精神的に不安なく選択できたりと、精神的な援助も受けられる。明治時代、地租改正から始まった日本の税金制度が、いまの私たちと将来の私たち、そしてこの先の子どもたちをつないでいる。これからも、税金がどのように私たちの生活と結びついているのか、知ろうとすることを止めず、考え続けたい。たった一つのドーナツでたくさんの人を支えることができるのだから。



島民ならではの視点で、私たちが改めて考えさせられた内容でした。



実体験を聞き、それをすばらしい文章にしてくださいました。



ドーナツに係る消費税と結びつけた発想がすばらしいです。



税を精神的な援助とも感じられたところがすてきです。

中学生の『税についての作文』優秀作品

東京都港都税事務所長賞 「税金でつながる私たちの暮らし」

御蔵島村立御蔵島中学校 3年 ■■■■■ さん

「税金はどこにつかわれているか知っていますか。」私は、税金があることは知っていた。けれど、実際に何に使われているのか考えたことがなかった。

私は、身の回りの「税金」について少しずつ考えた。私が住んでいる御蔵島は、人口が少なく自然の豊かな島。観光で訪れる人もいる。島民は御蔵島ではできないことをするために、島外に出ないといけないことが多く、御蔵島での暮らしは大変。ですが、船の運航、診療所や学校、災害時の支援など、御蔵島の生活を支えてくれているのが「税金」だということを知った。

税金は、みんなから集められて、みんなのために使われている。都内に住む人たちから集められた税金が、小さな島の支援にも使われていると聞き、自分たちばかり助けられているように感じた。ですが、それが「日本というひとつの国で助け合う」ということだと知った。

御蔵島では、船が欠航することも多いため、ヘリコプターが重要な交通手段として利用されている。しかし、その運航には多額の費用がかかり、島民だけの負担では維持が難しいのが現実。そこで税金が大きな役割を果たしている。

税金は、道路や橋といった都市のインフラ整備だけでなく、離島の人々の生活を支える公共サービスにも使われている。

御蔵島のヘリコプター便は、医療や教育、緊急時の避難に欠かせない存在であり、まさに「命を守る交通機関」といえる。もし税金による補助がなければ、運賃は何倍にも跳ね上がり、島民の生活は大きく制約されてしまうだろう。

私は、税金は単なる負担ではなく、社会全体で生活基盤を支えるための共同出資だと考えた。都市に住む人々にとっては、ヘリコプターを使う機会は少ないかもしれませんが、税金を通じて御蔵島の住民の安心や安全を守ることは、同じ日本社会に生きる仲間を支える行為だ。また、こうした支援があることで島の暮らしが維持され、自然や文化が守られることにもつながる。

御蔵島のヘリコプターを通じて、私は税金が公平に使われ、都内と離島の人々がともに支え合える社会であってほしいと思います。

このように自分の身近なものにたくさんの税金が使われていることが知れた。

今はまだ、税金を「払う」立場ではない。私も大人になれば働いて税金を納めることになる。そのときに、「自分の税金が誰かの役に立っている。」と思えるような社会になってほしい。私もそのような社会をつくる一員になれたらと思う。



「日本というひとつの国で助け合う」税金の役割に気づいた視点が素敵です。



将来の納税者となる自覚に、非常に頼もしく感じました。

港区長賞 「税金が繋いだ私のはじめの一步」

港区立高松中学校 3年 ■■■■■ さん



私は今年の4月、以前から考えていたあるビジネスを立ち上げました。その内容は、さまざまな職業を10代向けに紹介するウェブメディアです。将来を考えるときに役立つ情報を、同世代の目線で分かりやすく伝えることを目指しています。アイデアは前からあったものの、実際に事業として始める勇気が出ずにいました。そんな時に会ったのが、港区が主催する「創業セミナー」でした。

セミナーでは、起業の基本や資金計画、損益計算書やキャッシュフロー計算書など、経営に必要な多くのスキルを学びました。また、大人の方々に混じって、事業計画をディスカッションする時間は、発見の連続で多くの刺激と大きな自信を与えてくれました。

このセミナーは無料で受講できましたが、後から知ったのは、それが港区の税金で運営されているということです。会場の利用料や資料の印刷代、講師への謝礼も、すべて税金から出っていたのです。もし有料だったら、中学生の私は参加をためらっていたかもしれません。税金は、道路や学校だけでなく、こうして若い世代の挑戦を後押しするためにも使われていることを、私は身をもって知りました。

ウェブメディアを立ち上げてからは、職業を紹介する記事作りや取材だけでなく、会計や税の知識も必要だと実感しました。広告収入やサービス利用料が入ると、それをきちんと記録し

消費税や所得税の扱いを理解しなければなりません。利益が出れば、自分も税金を納める立場になります。今度は私が、誰かの学びや挑戦を支える側になるのです。

これまで私は、税金についてあまり深く考えたことがありませんでした。どちらかといえば、「なんとなく取られるお金」という印象が強く、身近なものだとは思っていなかったのです。けれど、税金のおかげで創業セミナーに参加でき、事業を始めるきっかけを得て、「はじめの一步」を踏み出せた今では、その見方が大きく変わりました。税金はただ集められて終わるものではなく、必要なところに再び配分され、人の可能性や社会の成長を支える力になっていると実感したのです。

ウェブメディアを運営する中で、これまで取材したマンガ家さんや会社の役員さんにお話を聞くことができました。マンガ家さんからは、アシスタントを抱えていて会社を経営していることや、会社の役員さんからは、従業員の所得税は会社が払っている話も聞きました。つまり、税金は社会の中でちゃんと生きているのです。

これからも、同世代の人たちが自分の将来を考え、選択するきっかけになるウェブメディアを作りながら、税についてもより深く学び続けたいです。そしていつか、私が納めた税金が、未来の誰かの夢を後押しする「はじめの一步」になり、より多くの人の夢が叶うことを願っています。



自分自身の興味がある分野に実際に足を運び、積極的に追及していく姿勢がすばらしいと思います。



10年後の■■■■■さんがどんなことに興味を持ち、取り組んで活躍しておられるのか、本当に楽しみです。

中学生の『税についての作文』優秀作品

港区教育委員会賞 「持続可能な社会への投資」



港区立三田中学校 3年 [] さん

税金は、私たちの社会を支える重要な基盤であり、国の運営や公共サービスの提供に欠かせません。道路の整備、学校教育、医療など、税金は私たちの生活をさまざまな形で支えています。

まず、税金は国の財源を確保する役割を果たします。所得税、消費税、法人税など、さまざまな税金が国民や企業から集められ、公共サービスやインフラ整備に使われます。たとえば、道路や橋の建設、公共交通機関の運営、学校や病院の維持は、税金がなければ実現できません。税金は社会全体の「共有の財布」として、誰もが恩恵を受ける仕組みを支えています。また、税金は社会の公平性を保つためのツールです。累進課税制度では、所得が高い人ほど高い税率で課税され、所得格差を緩和します。日本では、所得税の税率が所得に応じて段階的に上がる設計で、富裕層が社会に還元する役割を果たします。この税収は社会保障制度を通じて高齢者や障害者、失業者などを支え、社会の安定を保ちます。税金は単なる「お金集め」ではなく、公正な社会を築く仕組みなのです。

しかし、税金には課題もあります。まず、税負担の公平性が問題視されます。消費税は所得に関係なく一律に課税されるため、低所得者にとって負担感が大きいと指摘されています。たとえば、年収200万円の人と2,000万円の人が同じ

商品を買う場合、消費税は同じですが、低所得者には影響が大きくなってしまいます。このため、軽減税率や給付金などの対策が議論されます。また、グローバル化に伴い、大企業がタックスヘイブンをを使って税金を回避する問題も深刻です。一方で、中小企業や個人事業主は重い税負担を強いられており、不公平感が生じます。さらに、税金の使い道に対する国民の信頼も重要です。税金が無駄遣いされたり、政治家の不透明な資金運用が問題になると、国民の納税意欲が低下します。政府は税金の用途を透明化し、説明責任を果たす必要があります。近年では、予算の公開や市民参加型の予算編成など、透明性を高める取り組みも進んでいます。

税金は、私たちが社会の一員として果たす責任です。納税は自分の生活だけでなく、未来の世代や他の人々を支えるとても重要な行為です。たとえば、子どもの教育や高齢者の医療に使われる税金は、社会全体の繁栄につながります。税金を「負担」ではなく「社会への投資」と捉えることが大切です。税金は社会を支え、公平性を実現する柱ですが、課題も多くあります。国民一人ひとりが税金の意義を理解し、用途に関心を持つことで、より良い社会を築くことができます。透明で公正な税制を追求することが、「持続可能」な未来への第一歩となるでしょう。

芝納税貯蓄組合連合会 会長賞 優秀：

- 港区立高松中学校 3年 [] さん / 港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘中学校 9年 [] さん
- 東京税理士会芝支部 支部長賞：小笠原村立小笠原中学校 3年 [] さん
- 公益社団法人芝法人会 会長賞：港区立三田中学校 3年 [] さん
- 芝酒類商連合会 会長賞：港区立小中一貫教育校お台場学園港陽中学校 9年生
- 一般社団法人芝青色申告会 会長賞：八丈町立富士中学校 3年 [] さん
- 芝間税会 会長賞：港区立小中一貫教育校御成門学園御成門中学校 9年 [] さん
- 芝優申会 会長賞：港区立港南中学校 3年 [] さん

芝納税貯蓄組合連合会 会長賞 入選：

- 港区立小中一貫教育校御成門学園御成門中学校 9年 [] さん / 港区立三田中学校 3年 [] さん / 港区立三田中学校 3年 [] さん / 港区立港南中学校 3年 [] さん / 港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘中学校 9年 [] さん / 港区立小中一貫教育校お台場学園港陽中学校 9年 [] さん / 港区立小中一貫教育校お台場学園港陽中学校 8年 [] さん / 大島町立第一中学校 3年 [] さん / 大島町立第二中学校 3年 [] さん / 大島町立第三中学校 3年 [] さん / 利島村立利島小中学校 9年 [] さん / 式根島学園式根島中学校 9年 [] さん / 神津島村立神津中学校 3年 [] さん / 三宅村立三宅中学校 3年 [] さん / 八丈町立大賀郷中学校 3年 [] さん / 八丈町立三原中学校 3年 [] さん

▼「税についての作文」受賞者（表彰式参加者）



優秀作品が展示されました！

- 展示数：35点（作文・絵はがき・標語）
- 期間：2025年12月8日(月)～12日(金)
- 場所：港区役所 1階 ロビー
- 期間：2025年12月15日(月)～19日(金)
- 場所：赤坂区民センター 3階区民センターギャラリー



税の役割や課題など、大変よく調べています。



今回学んだことを忘れず、広めていってほしいと思います。

『税に関する絵はがきコンクール』 優秀作品

小学校3～6年生の皆さんを対象に開催した『税に関する絵はがきコンクール』では、21校から499作品ご応募いただきました。これからも税の大切さを多くの人に伝えてください。

【公益社団法人芝法人会／会長 竹ノ上藏造】



5年 [Name] さん

港区立高輪台小学校



芝税務署長賞



6年 [Name] さん

大島町立つばき小学校



東京都港都税事務所長賞

芝納税貯蓄組合連合会
会長賞

八丈町立三根小学校 6年 [Name] さん



[Name] さん

東京税理士会芝支部 支部長賞
新島村立新島小学校 6年



[Name] さん

公益社団法人芝法人会 会長賞
港区立小中一貫教育校 御成門学園御成門小学校 5年



6年 [Name] さん

港区立小中一貫教育校お台場学園 港陽小学校



港区長賞



港区立芝浜小学校
4年 [Name] さん



港区教育委員会賞



[Name] さん

芝酒類商連合会 会長賞
港区立赤羽小学校 3年



[Name] さん

一般社団法人芝青色申告会 会長賞
大島町立さくら小学校 6年



[Name] さん

芝間税会 会長賞
式根島学園式根島小学校 6年

芝優申会 会長賞

港区立小中一貫教育校 白金の丘学園 白金の丘小学校 6年 [Name] さん



[Name] さん

公益事業委員会 会長賞
港区立高輪台小学校 5年

女性部会長賞

港区立港南小学校 6年 [Name] さん



感動voice 税を「ボタン」に見立て、世代をつないでいくことを一目で簡潔にわかりやすく表現しているところがすばらしかったです。

感動voice 遠くから見てもインパクトがあり、目立つ作品でした。ハート型の花びらの中には、公園や学校が描かれ、税についてよく学ばれていることがわかりました。

感動voice 「安全・安心な暮らし」を支える警察、消防、学校などが、ポップなイラストでバランスよく表現されていました。

感動voice 消防や警察の他にも、学校や教科書も描かれていますね。シンプルな色使いで、とても見やすい構成でした。

公益社団法人芝法人会 会長賞 入選：(左から)

港区立高輪台小学校 5年

■■■■さん

港区立小中一貫教育校

お台場学園 港陽小学校 3年

■■■■さん

神津島村立神津小学校 6年

■■■■さん



『税の標語』優秀作品

どの標語からも、皆さんの税に対する、率直な思いがひしひしと伝わってきました。

34校から1294の素晴らしい作品をご応募いただき、ありがとうございます。

【芝間税会/会長 河村守康】



芝税務署長賞

当たり前 その裏側に 税がある

港区立三田中学校 3年 ■■■■さん



東京都港都税事務所長賞

僕たちの暮らしを支える 大事な税

港区立芝浦小学校 6年 ■■■■さん



港区長賞

まず学ぼう 税の仕組みや 使い道

港区立小中一貫教育校御成門学園
御成門中学校 8年 ■■■■さん



港区教育委員会賞

税はタネ 幸せの花 咲かせてる

港区立芝浜小学校 6年 ■■■■さん



「絵はがきコンクール」審査会

2025年9月中旬、芝税務署・東京都港都税事務所・港区役所 および 芝法人会公益事業委員会・女性部会の役員が、審査会を行いました。心のこもった絵がたくさんあり、すばらしい作品ばかりで、選ぶのに時間がかかってしまうほどでした。



▼「税についての絵はがき」受賞者（表彰式参加者）



標語という字数の制限があるなかで、とても簡潔に税の本質を表現しています。



税についてたくさん学んだことが、この標語に詰まっています。



「税の学び」への積極的な姿勢を感じました。



税をタネとして表現する視点が大変すばらしいです。

税についての作文等 主催団体のご紹介



芝納税貯蓄組合連合会

納税貯蓄組合法に基づく団体で、納税資金の計画的備蓄の推進と納期限完納の定着化や振替納税制度の普及拡大とe-Tax及びeLTAXの普及、消費税の滞納未然防止活動による税の期限内納付の確立、租税教育や税の広報活動による納税道義の高揚を目的として活動しています。

その一環として昭和42年以来、全国の中中学生を対象に「税についての作文」の募集を行っています。

芝間税会

間接税についての知識を習得し、申告納税制度における公平な税制の実現と適正な税務執行に寄与することを目的として結成された団体です。

おもな活動として、
①税への提言、②消費税完納運動、
③租税教育の一環としての「税の標語」の募集、
④「世界の消費税」の図柄をいれたクリアファイルの作成・配布による消費税の啓蒙運動などを行っています。



公益社団法人 芝法人会

正しい税知識を身につけたい。もっと、積極的な経営を目指したい。社会の役に立ちたい。そんな経営者を支援する組織が法人会です。

芝法人会「租税教室」のラインナップ

- *訪問授業型:講師が学校へ訪問し、教室内で授業します。
- *オンライン授業型:ICTを活用した、デジタルコンテンツを交えた授業です。
- *移動教室型:芝法人会館など学校以外の環境で、より体験型の内容で授業します。

芝法人会租税教育企画

- *小学生対象「税に関する絵はがきコンクール」の実施

「税」って何だっけ？ 芝法人会の租税教育 知り、学び、考えるための年代別カリキュラムをご用意

小学校 1～3年生	みなと区民まつり等イベントでのクイズやゲームで楽しみながら「税」という言葉に触れる機会を設定	税に関する絵はがき	税の標語 ◆全国間税会総連合会主催 ◇国税庁・(二財)大蔵財務協会後援
小学校 4～6年生	職場見学等を通じて、「税と社会の仕組みを知る」企画を設定 *6年生には「租税教室」を用意*	◆(公財)全国法人会総連合主催 ◇国税庁後援	
中学生	小学校で知った「税」と社会の関連性についてグループディスカッションし、自分自身の将来を含めて考えてみる *思考型「租税教室」を用意*	税についての作文 ◆国税庁・全国納税貯蓄組合連合会主催	

芝納税貯蓄組合連合会 会長賞
税でつながる 私たちの未来
税があるから できること

港区立小中一貫教育校御成門学園 御成門中学校
7年 〇〇〇〇さん

東京税理士会芝支部 支部長賞
納税で あなたが創る 日本の未来

港区立小中一貫教育校お台場学園 港陽中学校
8年 〇〇〇〇さん

公益社団法人芝法人会 会長賞
税のバトンを 未来へつなごう
受けた支えに 恩返し

港区立小中一貫教育校お台場学園 港陽中学校
9年 〇〇〇〇さん

芝酒類商連合会 会長賞
税金で 笑顔咲かせる 支え合い

港区立高輪台小学校
6年 〇〇〇〇さん

一般社団法人芝青色申告会 会長賞
税金で みんなの暮らしに 花が咲く
税金を 納めてつくろう 笑顔の輪を

港区立小中一貫教育校白金の丘学園 白金の丘中学校
9年 〇〇〇〇さん

芝間税会 会長賞 / 東京国税局間税会連合会 佳作
高めよう 税への意識 責任感

港区立小中一貫教育校御成門学園 御成門中学校
8年 〇〇〇〇さん

芝優申会 会長賞
税がある だから守れる 暮らしの安心

八丈町立富士中学校
3年 〇〇〇〇さん

全国間税会総連合会 入選: 港区立白金小学校 6年 〇〇〇〇さん

東京国税局間税会連合会 入選: 港区立小中一貫教育校御成門学園御成門中学校 8年 〇〇〇〇さん

芝間税会 入選: 港区立小中一貫教育校御成門学園御成門中学校 8年 〇〇〇〇さん / 港区立小中一貫教育校御成門学園御成門中学校 8年 〇〇〇〇さん / 港区立小中一貫教育校御成門学園御成門中学校 8年 〇〇〇〇さん / 港区立港南中学校 3年 〇〇〇〇さん / 港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘中学校 9年 〇〇〇〇さん / 大島町立第二中学校 3年 〇〇〇〇さん / 新島村立新島中学校 2年 〇〇〇〇さん / 八丈町立大賀郷中学校 3年 〇〇〇〇さん / 港区立小中一貫教育校御成門学園御成門小学校 6年 〇〇〇〇さん

▼「税の標語」受賞者(表彰式参加者)

